



日ごろ考えていることや身の回りの出来事などを500字程度にまとめて投稿してください。紙面の都合上、若干手直しさせていただくこともあります。あて先は(〒950-1292 白根市大字白根12-35 白根市企画財政課秘書広報係)です。

野菜作りに挑戦

川村 千代栄
(六十二歳・大通二)

昨年は近くの農家の人から畑を借りて、主人と野菜作りに挑戦しました。見よう見まねで作った野菜は、トマト、ナス、キュウリに枝豆、キャベツなどなど。採れた野菜は子供たちにも分けあげ、みんなで無農薬野菜を味わって食べました。真っ赤なトマト、紫色に光ったナスに感動して、絵に描いてもみまました。この間も畑から採れたてのプロッコリ、ダイコンをサラダにして、主人の迷解説よろしく二人で食べました。

く楽しく前向きに、トマトのような丸い心で頑張りたいです。

孫と私

高野 茂子
(高井東一)

たまごっちブームのころ、五歳の孫と一緒に覚えました。私が何とか長く育てることができたころには、孫はピカチュウの歩数計で楽しんでいました。最近ではゲームボーイに興味を持ち、夢中になっていきます。孫が遊んでいる横から何とか覚ええました。反射神経の鈍さを笑われながら、それでも必死に親指を上下、左右に動かせるようになり、孫に「上手になったね」と褒められました。仕事で疲れているときでも、ゲームをすることによってハラハラ、ドキドキと奮闘しながら、孫と面白おかしく楽しんでいきます。

孫は次のゲームに取り組んでいます。果たして私が孫にどこまでついていけるのか。不安ながらも時勢に一步でも近づけるのではないかと思っています。

今年も安全運転で

川村 常
(六十四歳・平成町)

早いもので、今年で運転免許を取ってから二十八年になります。というといかにもベテランドライバーという感じですが、実際にはそのうち二十年くらいは一週間に一回だったり、あるいは一カ月に一回だったりという、ペーパードライバー寸前の状態でした。ところが、還暦間近になって急に忙しくなりました。縁あって現住所に引っ越すことになり、せっせと荷物運びに、引っ越して少し不便になった買い物に、夫の入院にと、毎日のように運転するようになり、最近ようやく慣れてきたところで、

そんな訳で、年数だけはたつていますが、まだまだ運転未熟を自覚して、初心を忘れずに今年も無事故、無違反、安全運転を心掛けたいと思っています。

私の体験

小柳 ノイ
(八十八歳・中郷)

いつの間にもやら正月も過ぎてしまいました。早いものです。昔の正月は二月正月でしたから、二月はまだまだ忙しく働いていたものでした。来年の仕事は仕上げ、三十一日の年とりには小さな魚一切れ、ゴボウのきんぴら、のつべいを食べたくらいでした。今は時代が変わり、刺身に焼き魚そのほかいろいろあつて、殿様暮らしです。振り返ってみると、よくぞここまで生かされてもらったと感謝の心を忘れたことはありません。親、先祖、家族のおかげです。今は若者からいたわってもらい本当に幸福です。一日一日喜びと感謝を忘れないようにしていきたいと思う毎日です。

広報クイズ

図書券が当たる!

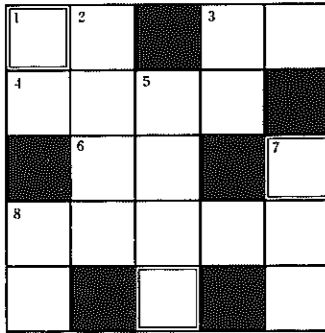
はがきに答え(完成図は不要です)、住所、氏名、年齢、市や広報紙への意見を書いて、4月20日(必着)まで白根市企画財政課秘書広報係(〒950-1292 白根市大字白根四)へお送りください。正解者の中から抽選で2人に500円の図書券、3人に粗品を差し上げます。正解者の発表は5月1日号で行います。3月1日号の正解はゴニンバヤシ。正解者は31人でした。▼図書券 小林友和(菱潟新田)、田巻節子(上浦) ▼粗品 大矢真由美(古川)、相馬由布子(高井東一)、堀沢由香里(大通南4)

ヨコのカギ

- ①「おてもと」と呼ばれています
- ②白根市は〇〇に囲まれた田園都市です
- ③旅行で泊まる場所
- ④〇〇は世につれ、世は〇〇につれ
- ⑤家へ帰ったら、これを済ませてから遊びなさい

タテのカギ

- ①注射、釣り、レコード
- ②「むらさき」とも呼ばれます
- ③酒を適当な温度に温めること
- ④素直でない、〇〇〇〇な態度
- ⑤動物の死体が、永く原形に近い形を保存しているもの
- ⑥敵を防ぐために築いた軍事的構造物



□の中の字を並べてください
春の風物です

広がれ健康家族

旬を食べよう ハウスキュウリ



白根市は県内有数の野菜生産地です。中でもキュウリは収穫量2、480トンで県内第2位(北陸農政局新潟統計事務所調べ)、昨年の売上高は2億9千万円に上ります。市内主産地の大郷、鷺巻地区では、4月中旬からハウス栽培のキュウリの旬を迎え、収穫は11月まで続きます。

キュウリは鮮度が命。消費者に新鮮でおいしいキュウリを食べてもらおうと、早朝収穫したものが午後一番には店頭並ぶ「朝もぎキュウリ」の販売が、大手スーパーと提携して大規模に行われています。

最近では、ブルーム(野菜が水分の蒸発を防ぐために出す、白い霧のような細かい粉)の付いた昔ながらのキュウリではなく、緑が濃く、テカテカ光るブルームレスの品種が主体です。春は「シャープI」、秋は「大将II」といった銘柄が8割を占めます。

栄養的には、カロチンとカリウムが若干含まれますが、ほとんどが水分です。ただ、ビタミンCを壊すアスコルビナーゼという酵素が含まれるので、単品で料理する方がビタミンCの損失が少なく済みます。

保健福祉課 電話 235

市民文芸

俳句

薄氷に捉へられたるもの静か 安澤 飛浪
生きてゐる水と一緒に紙を漉く 公條 雪夫
庭石の影を持ち上げ下萌ゆる 相田 照子
靴音の廊下に響く余寒かな 和泉 伸子
沈丁の蒼となりて雪を抱き 小林 光子
石段を踏みしめ登る余寒かな 堀内ナナ子
咲き初めて雪に紅さす寒椿 小林 すみ
雪晴れの夕月まろくさやかに 細貝 漢子
立春の名ばかりなりし深夜 五十嵐智恵子
寒風や帆待稼の梅剪定 山田 孝
祝儀値に非ず雪値の野菜高 五十嵐寛吾
山門を入れば残雪山をなす 笠原 里津
鳥啼る私語にぎやかに首のへて 山田 栄一
啓蟄や畑に目立つねずみ穴 塚本 静子
隙閉じさせてやりたし納め雑 真嶋つぎえ
鳥啼る暮れて瓢湖の水明り 金子 千代
初胎動嬉しと出さる雛菓子 小林 なお
横とびに犬がじゃれられる猫柳 間島きよ子
老母にまだ雛たのしめる日もありて 小野 義之
啓蟄や銀の襖を締むる音 田中美根子
鳥雲に入り旅知らぬ野の鴉 遠藤 大蔵
啓蟄や農薬散布あちこちに 丸山 虚秋
知野信一郎

雑の目の母の歴史を語りつぐ 小林富沙子

短歌

楽しめぬ一日のおわり区切るごと 音ことさらに野菜切るなり 関 悦子
静もれる山間に来てかのゴッホが 好みて画ける跳橋に会う 出来島ミサホ
核実験朝に報せしその夕べ 飢うる難民テレビに溢る 田中 恭子
歌会に親しき友と席並べ 宇ばむ時を指折り待つ 河内 勝哉
朝まだきたりけくおれば床の間の 達磨大師に活を入れらる 阪井いくの

川柳

飽食の果てタクアンの美味さ知り 山岡 フミ
政界の旱河童の血乾く 吉川 彰
優先席で若い狸が寝る振り 今井 七郎
定年とセットで届く難縁状 大谷 龍吉
子が産まれ立場が変わる嫁姑 岡 満記子
そして春大きな花を買いに行く 鈴木 テフ
窓全部開けて明日が見えてくる 田村 恒夫
候補者を飾りかけて選る四月 高橋祐四雄
日の丸に嬉しい風の万国旗 中村 尚治
逆立ちでリフレッシュする独り者 西条 ムラ
方言を忘れ人情まで忘れ 今井八重子
生死とやせつな風に置く命 織田 福治
金婚へ飾る言葉を積んで春 織田 セツ
著名人バタバタと鬼籍入り 丸山 一郎